

元気あふれ
人がつながり
安心して暮らせる
～ 誇れるまち『尾道』～



「人財」「資源」「広域拠点性」
3つの「尾道オリジナル」を高め
独創的なまちづくり

尾道市総合計画

平成 29年 3月

 尾道市

ごあいさつ

本市は、緑豊かな中山間地域から尾道水道周辺地域を経て独特の多島美を有する島しょ部に至るまで、他にはない景観や歴史、文化に育まれた多彩な資源と、瀬戸内の十字路に位置する広域的な交流拠点としての優位性など、様々な特長を有しています。本市ではこれまで、これらの資源や優位性を活かしながら、市民の皆様とともに個性的で魅力的なまちづくりに取り組んできました。こうした取組は、平成26年(2014年)の文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)の受賞、平成27年(2015年)から2年連続での日本遺産認定につながっており、確かな歩みを感じております。

これからは、平成30年(2018年)に尾道市制施行120年、平成31年(2019年)に尾道港開港850年、平成32年(2020年)に新しい市庁舎完成、東京オリンピック・パラリンピック開催など、本市にとって、大変重要な期間であり、これらを好機と捉え、更なる飛躍に結び付けていかなければなりません。また、社会が大きく変化し、人口減少が進行する中で、少子高齢化に対応した子育て支援、健康づくりの取組、インフラ整備など、本市が将来に向けて持続可能なまちであるための基礎を固め、新しい時代に向けて挑戦していく期間でもあります。

この総合計画は、「元気あふれ 人がつながり 安心して暮らせる ～誇れるまち『尾道』～」を本市が将来目指すべき都市像として掲げ、多様な政策課題への対応策の方向性と展開すべき施策を見定めたものです。本市の持つ「人財」「資源」「広域拠点性」の3つの魅力を『尾道オリジナル』と表現し、これらをさらにみがき高め、尾道だからこそできる独創的なまちづくりを展開することで、市民の皆様が誇れる、さらには、多くの人々から選ばれるまちの実現を目指してまいります。

結びに、計画の策定にあたり、長期にわたり熱心かつ活発にご審議をいただきました審議会委員の皆様をはじめ、市民満足度調査、パブリックコメントを通じて、貴重なご意見をいただきました市民並びに関係者の皆様に、心からお礼を申し上げます。



平成29年3月

尾道市長 平谷祐宏

まちづくりの考え方

本市が将来も発展していくために、
本市の持つ「人財」「資源」「広域拠点性」の3つの『尾道オリジナル』を
さらに高めていくことで、独創的なまちづくりを展開します。

キャッチフレーズ

高める『尾道オリジナル』

本市の持つ3つの魅力

人財を
魅力として活かす

本市の地域を支える多様な人々や、取り組んでいる活動は、まちづくりの基盤となるかけがえのない財産です。今後のまちづくりにおいても、こうした人財を大切にして、本市の魅力として活かし、育てていきます。

多様で
豊富な人財

『尾道オリジナル』

歴史と文化に
育まれた資源

尾道の資源を
魅力として活かす

本市が将来にわたって持続的に発展していくためには、地域文化を継承するとともに、資源のリノベーション等が必要です。今後もこうした歴史と文化に育まれた資源を魅力として活かしていきます。

交流を支える
広域拠点性

広域的な交流拠点を
魅力として活かす

本市は、瀬戸内の十字路に位置し、広域的な交流拠点としての優位性を有しています。今後も、こうした拠点性の高さを本市の魅力として活かしていきます。



都市像

本市の都市像を次のとおり設定し、その実現に向けて取り組みます。

元気あふれ 人がつながり 安心して暮らせる ～ 誇れるまち『尾道』～

本市が将来にわたり、持続的に発展していくためには、地域経済を支える産業の活性化や更なる交流の拡大・推進が必要です。

元気あふれ

産業を元気にすることで、新たな雇用を生み出し、地域の活性化、移住・定住人口の増加につなげていくことが必要

人がつながり

心豊かな人材を育て、先人が残してきた誇りや、尾道市民としての心のつながりを大切にし、人と地域がつながる社会を実現していくことが必要

安心して暮らせる

健康・福祉・医療・介護等、また、防災・防犯対策等の充実により、日常生活の安全を確保し、誰もが安心して快適に暮らすことのできるまちを目指すことが必要

このような視点に立ち、
尾道らしい、尾道だからこそできる
独創的なまちづくり

を展開することにより、

市民が誇れるまち

の実現を目指します。

基本的方向

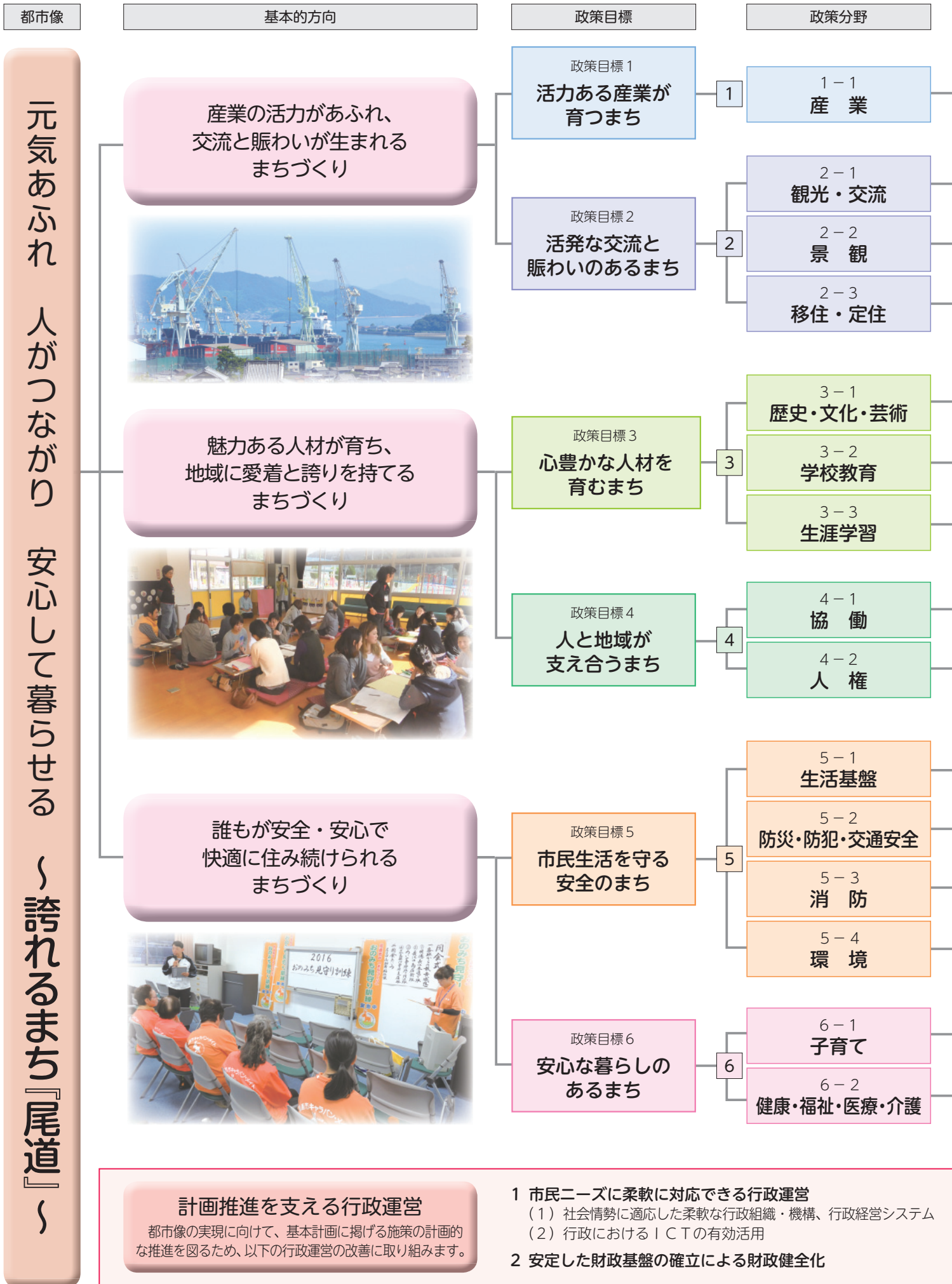
今後は、次の3つの基本的方向に基づき、まちづくりを推進します。

産業の活力があふれ、
交流と賑わいが生まれる
まちづくり

魅力ある人材が育ち、
地域に愛着と誇りを持てる
まちづくり

誰もが安全・安心で
快適に住み続けられる
まちづくり

尾道市総合計画の体系



施策目標

- 1-1
 - 1 地域経済を支える産業に活気がある
 - 2 多様な産業が育っている
 - 3 農林水産業が活性化している
 - 4 産業の担い手が育っている
 - 5 誰もが働きやすい雇用環境が整っている

- 2-1
 - 1 観光消費が増えている
 - 2 国内外との交流が活発に行われている

- 2-2
 - 1 景観が保全・整備されている

- 2-3
 - 1 移住・定住の取組が活発に行われている

- 3-1
 - 1 歴史・文化・芸術が継承され、活かされている

- 3-2
 - 1 夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く人材が育っている
 - 2 学校施設が整備されている

- 3-3
 - 1 いつでも学べる環境が整っている
 - 2 学校・家庭・地域の連携により子どもたちが健やかに成長している
 - 3 スポーツを楽しんでいる

- 4-1
 - 1 協働のまちづくりの意識が定着している
 - 2 地域でまちづくりを行う仕組みが形成されている

- 4-2
 - 1 人権が尊重されている
 - 2 男女がともに認め合い、支え合う社会が実現している

- 5-1
 - 1 生活基盤が整い市民が安全に暮らしている
 - 2 利用しやすい生活交通が確保されている
 - 3 良好な住環境が整っている

- 5-2
 - 1 防災・防犯・交通安全体制が充実している

- 5-3
 - 1 消防体制が充実している

- 5-4
 - 1 環境が保全されている

- 6-1
 - 1 安心して子どもを産み育てられる環境が整備されている

- 6-2
 - 1 健康寿命が延びている
 - 2 高齢者や障害のある人が健康で安心して暮らしている
 - 3 生活に課題を抱える人の支援体制が充実している
 - 4 医療体制が充実している

- 3 行政組織を支える市職員の能力向上
- 4 地域特性を活かした市の持続的発展
- 5 広域行政・連携の推進



高める『尾道オリジナル』事業※ 一覧

尾道オリジナル 01

尾道ブランド発展支援事業

尾道ブランド農産物認証制度により認証された「尾道ブランド農産物」を生産するJA生産部会等が行う生産量の増加や新規生産者の増加に資する取組を支援します。

尾道オリジナル 02

尾道スローフードまちづくり事業

尾道固有の豊かな自然の恩恵を受けて育んできた食と食文化を守り、次世代への継承と食育、交流人口の拡大に取り組み、自然と調和する住みよいまちづくりを目指します。

尾道オリジナル 03

尾道季節の地魚の店認定事業

尾道の地魚を積極的に提供している飲食店等を「尾道季節の地魚の店」に認定し、イベント開催や情報発信による地魚の地産地消を推進し、地域の活性化を図ります。

尾道オリジナル 04

日本遺産推進事業

「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」と「村上上海賊の歴史遺産群のストーリー」が、全国で唯一、2年連続日本遺産に認定されました。交流促進等による地域の活性化を図るため、本市の魅力を国内外に発信し、特色を活かした事業を展開します。

尾道オリジナル 05

しまなみDMO形成推進事業

瀬戸内しまなみ海道エリアの行政、民間事業者等が連携して自立的な事業体であるDMOを設立します。本市の特色であるサイクリングを活用するなど、「稼ぐ力」を向上させ、観光産業発展による地域経済活性化、雇用拡大を図り、しまなみファンの創出を移住・定住につなげます。

尾道オリジナル 06

フィルム・コミッション事業

瀬戸内海を望む階段や坂道、路地越しに見える尾道水道、旅情を誘う雁木などの優れたロケーションは、これまでに数々の映像作品の舞台となっています。今後も、培ったノウハウを活かし、制作に関する各種サービスを提供することで、知名度の向上、観光集客力の強化等を図ります。

尾道オリジナル 07

外国人旅行者誘致事業

国のビジット・ジャパン事業や広島県・愛媛県の訪日外国人誘致事業と連携し、海外の旅行事業者・マスコミなどを対象とした招聘事業やPR事業を展開するとともに、無料公衆無線LANの整備や観光案内所での多言語対応など、受入体制を整備します。

尾道オリジナル 08

しまなみ海道サイクリングロード施設整備事業

瀬戸内しまなみ海道にブルーライン、距離標等の路面標示整備やサイクリング位置情報表示板を設置するなど、自転車で周遊するサイクリストに安全・安心で快適なサイクリングの機会を提供します。

尾道オリジナル 09

千光寺公園リニューアル事業

千光寺公園展望台からの尾道水道を中心とした眺望は、市民に愛され親しまれるとともに、国内外からの観光客をひきつける魅力を有しています。この展望台をはじめとした公園内の施設等を見直し、一層のイメージアップを図ります。

尾道オリジナル 10

尾道リノベーションプロジェクト

リノベーションにより、民間団体等が行う、空き家・空き店舗を活用した拠点施設の整備、創業やイベント開催の支援などにより、市街地東側へ回遊性を高め、観光客等の滞在時間の延長を図るなど、市街地全体の活性化を図ります。

尾道オリジナル 11

まちなみ再生事業

BISHOKU(美食・尾食)×観光をキーワードとして、イベントの開催や空き店舗の活用を支援することにより、まちなかの賑わいを創出し、交流人口の拡大を図ります。

尾道オリジナル 12

国際交流推進事業

海外からの留学生の受入や交流イベントへの支援を行うことにより、市民が外国人と接して理解を深める機会を増やし、国際的な視野を持つ人材の育成を図ります。こうした取組により、観光を基幹産業にすることを前提とする外国人観光客を受け入れる「おもてなしマインド」を醸成します。

尾道オリジナル 13

絵のまち尾道四季展開催事業、高校生絵のまち尾道四季展開催事業

尾道の風景・風俗を題材にした他に類を見ない独創的な全国絵画公募展を開催し、市民の文化意識の高揚と心豊かな感性の涵養に資する機会を創出するとともに、本市の個性と魅力を全国に発信します。また、高校生を対象にした全国絵画公募展では、副賞にフランス旅行が贈られ、本市と文化的友好を育むオンフルール市を表敬訪問することにより交流を深めます。

尾道オリジナル 15

写真のまち尾道四季展開催事業

自然景観に恵まれ、歴史と文化の香り高い尾道をモチーフにした作品を全国から公募しています。写真文化の振興と交流人口の拡大を図り、写真の題材にもなる多くの魅力的資源を持つ尾道を広くPRします。

尾道オリジナル 16

歴史的風致維持向上事業（通りの美装化等）

歴史的風致維持向上計画に基づき、通りの美装化に取り組むなど、日本遺産のストーリーを構成している魅力的なまちなみと景観を未来へ伝えます。





尾道オリジナル 17

尾道市囲碁のまちづくり推進協議会運営支援事業

『囲碁のまち尾道』の全国発信と、囲碁人口の増加による囲碁文化の向上を図るため、囲碁の各種大会の実施と普及活動に取り組む尾道市囲碁のまちづくり推進協議会の運営を支援し、「囲碁」によるまちづくりを推進します。

尾道オリジナル 18

国宝・重要文化財保存事業

日本遺産のストーリーを構成し、市民の誇りである国宝や重要文化財を未来に残すため、適切に保護、保存するとともに、特別公開や講演会を実施するなど、有効に活用することにより、市民の文化財保護意識の一層の高揚を図ります。

尾道オリジナル 19

尾道教育みらいプラン 2

本市の子どもたちの教育を就学前も含めた「尾道 15 年教育」として進める中、小・中学校教育については、「夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く子どもの育成」を目標とする「尾道教育みらいプラン 2」に基づいて、特色ある各種事業を展開します。

尾道の豊かな伝統・文化などを活かした効果的で質の高い教育活動を実施することで、郷土を愛する心とグローバル社会に対応できる資質を持ち、社会に貢献できる「尾道の子どもたち」を育成します。

尾道オリジナル 20

尾道健幸スタイル事業

本市は、30 から 50 歳代の運動習慣のない人の割合が他の年齢層より高い状況です。若い世代が健康の保持増進に関心を持ち、日常的に運動を心掛けるよう、親子での運動・スポーツを促す事業の実施、健康づくりの取組を評価するコンテストなどに取り組めます。

尾道オリジナル 21

幸齢ウォーキング推進事業 (プラス 10 分てくてく運動)

本市は、高齢化率が高く、健康寿命も県平均を下回っています。生活習慣病や認知症等を予防するため、プラス 10 分のウォーキングを習慣化し、歩いた日数に応じて、抽選で景品を贈呈します。

尾道オリジナル 22

「いのち・愛・おのみち」人権啓発推進事業

市民が命や人権の大切さを学び、人権尊重の意識が高いまちとなるよう、市民参加型の人権展の開催や各地域で著名な講師による講演会を開催し、市民が参加しやすい啓発事業を推進します。

尾道オリジナル 23

救急自転車活用事業

サイクリストの聖地として、多くの人に親しまれている瀬戸内しまなみ海道のサイクリングコースを、より安全・安心に楽しんでもらえるよう、救急自動車の進入が困難な現場で発生した救急事案に迅速に対応するため、自転車に乗り換えた救急救命士を先行して到着させることで、救命率の向上を図ります。

尾道オリジナル 24

分別戦隊エコレンジャー事業

本市のごみの分別収集は、細分化された 23 分別を行っており、市民に対してよりわかりやすい啓発を行う必要があります。市民の分別知識を高め、環境意識の高揚を図るため、幼稚園・保育所・小学校等で「エコレンジャー」を活用した寸劇形式などの環境リサイクル教室を開催し、啓発活動に取り組みます。

尾道オリジナル 25

環境学習推進事業

本市の地域特性を活かした「しまなみ・やまなみ自然学校」で、子どもたちを対象とした体験型の環境学習を実施します。自然環境を大切にする気持ちを育むとともに、子どもたちの交流を深め、環境を大切にする市民の育成に取り組みます。

尾道オリジナル 26

尾道子育て応援スタイル(子育て世代包括支援センター“ぽかぽか”)

少子化や核家族化が進行し、ニーズが多様化してきている中、母子保健コーディネーターと子育て支援コーディネーターを配置したワンストップサービスの拠点を市内全域に整備し、妊娠期から子育て期にわたる様々な悩みに対し専門的な見地による相談支援を常時継続的にを行います。また、医師会をはじめ関係機関や地域の子育て拠点等とのフォロー体制を構築し、産前・産後の支援を充実することで不安・負担感を軽減するとともに、地域活動との連携を深めながら、楽しく子育てが行えるよう支援します。

尾道オリジナル 27

尾道市子どもの貧困対策プロジェクト

本市の未来を担う子どもたちが夢と希望を持って成長していくことができるよう、庁内に関係課職員で構成するプロジェクトチームを設置し、子どもの貧困問題に関する調査及び研究等、組織横断的な取組を通じて、尾道の特色を活かした実効性のある総合的な対策を企画・立案します。

尾道オリジナル 28

子どもの居場所づくり事業

貧困の連鎖を防止する観点から、支援が必要な子どもに対して、尾道市立大学や地域のボランティア等とも連携し、基本的な生活習慣の習得支援や学習支援等を行い、子どもの生活向上を図ります。

尾道オリジナル 29

健康都市尾道 2022 宣言

第二次健康おのみち 21 の最終年度である 2022 年に向けて、全市をあげて健康づくりに取り組む機運を高めるための道しるべとして宣言を行い、各種イベントや講演会等を開催するなど、健康寿命の延伸を図ります。

尾道オリジナル 30

おのみち幸齢プロジェクト

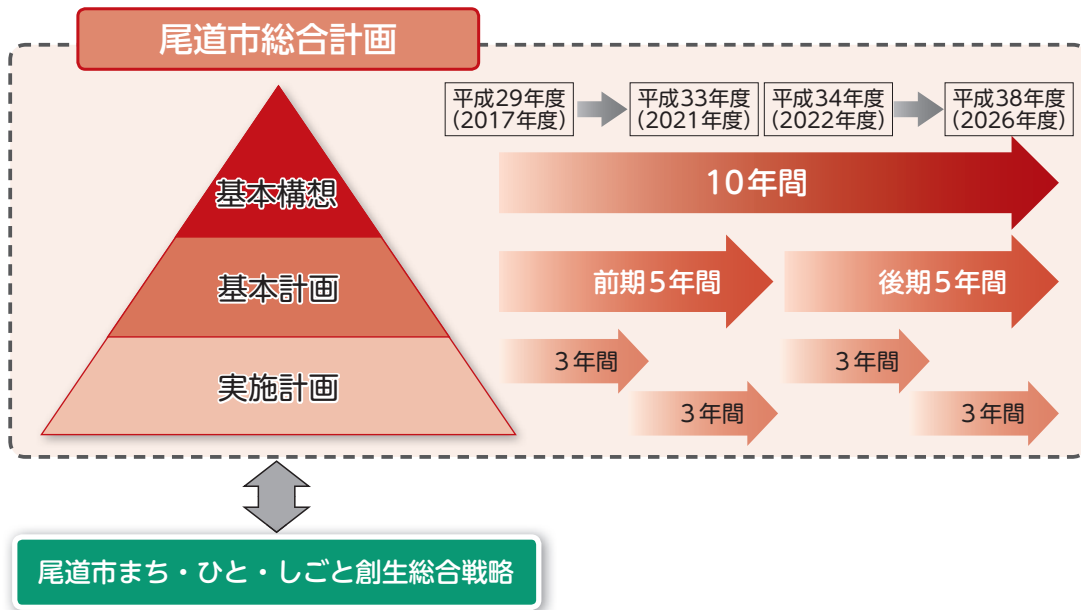
歳を重ねることを楽しみ、健康でいきいきと安心して暮らせる尾道を実現するため、健康づくり・介護予防・生きがいづくり・環境づくりをテーマとした特色ある事業に関係各課が連携して取り組みます。(「出たもん勝ち」、「おのみち見守りネットワーク」など)



尾道市総合計画の概要

計画の構成と期間

【構成図】

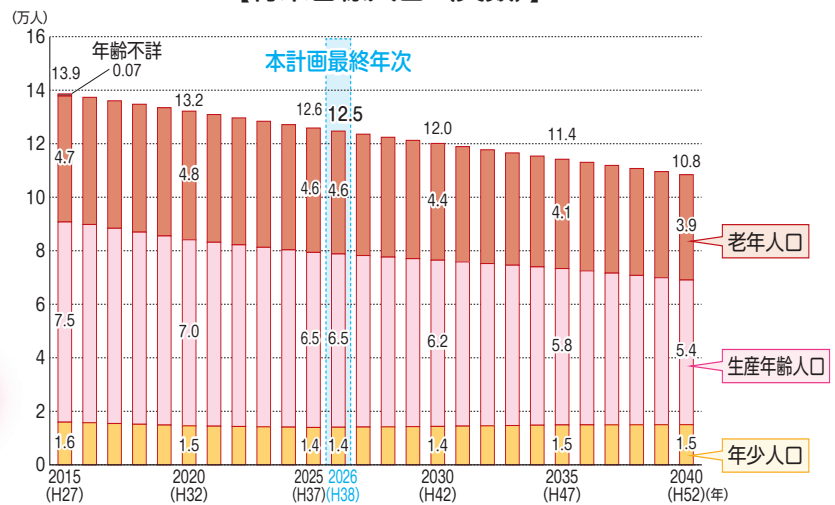


目標人口

本計画においては、「尾道市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」における人口推計に準拠し、本計画の最終年次である平成38年(2026年)の尾道市の将来目標人口を12万5千人と設定します。



【将来目標人口（実数）】



資料：総務省「国勢調査」

計画の推進方針

1 効果的・効率的な行政運営

事業の見直しや重要度に応じて行政資源を投入するなど、選択と集中による施策展開に努め、持続可能で市民満足度を高める行政運営を推進します。

2 市民が主役となったまちづくり

自助、共助、公助の相互連携を基盤に、市民、活動団体、企業などの多様な主体との協働により、ともにまちづくりに取り組みます。